

童園だより

Vol.26.2016.9



新園長あいむつ

園長 北村 直登

28年4月1日付けで藤崎台

童園の園長に就任しましたが、
養護施設は外からしか関わったことがなく不安でいっぱい
の気持ちでした。まだまだ右

も左も分らない内に14日の余震そして16日未明
の本震がありその後1ヶ月余り、園長として、
校区社協長としての指定避難所との二足のわら
じでした。



本震時は職員での迅速・安全・安心をモット
ウに児童の誘導等を行って貰い児童も元気に避
難生活を行い、5月連休後学校に登校出来るま
でになりました。

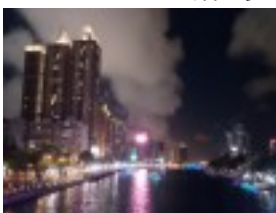
養護施設関係の知識は乏しく、1年間は出来
るものには全て出席し勉強させてもらいます。
養護・養育についてはこれからの課題として受
け止め、地域に開かれた施設、社会的養護とは
をいつも念頭に、地域との媒介役として私なり
に情報公開を行い、気持ちとして地域の要望は
全て受け入れる体制で臨みたいと思います。

毎日毎日の児童の元気な顔を見ながらの生活
も張り合いがあり今後の糧になるでしょう。今
後ともどうぞ宜しくお願いいたします。

台湾に行きました

中2 H・M

僕は、熊本県の青少年大使に
選ばれて、台湾の研修旅行に行っ
てきました。
今回の研修で、僕は学んだこ
とがたくさんありました。その
中でも一番心に残ったことは、
台湾の人たちの優しさでした。
言葉はお互いわからないのに、
一生懸命僕に分かりやすいよう
に教えてくれたことがとても嬉
しかったです。
また、こういう機会があった
らぜひ行ってみたいと思います。



台湾の夜景



ホームステイ先の家族との食事

ホームステイに参加して

中3 N・N

私は、8月9日～11日の間で
大分県の「和」という施設にホー
ムステイに行きました。
初めての場所だったけどとても
充実した3日間でした。
大分県の観光地をたくさん回
りました。アフリカンサファリ
や城島高原パークやうみたまご
に行きました。楽しむ事ができ
てよかったです。ホテルに泊まっ
たり花火をしたりと夏休みのい
い思い出を作ることができまし
た。
また機会があったら行きたい
です。



平成28年 熊本地震 被害状況について

平成28年4月14日午後9時26分ごろ、熊本県熊本地方を震源地とするマグニチュード6.5の地震が発生しました。さらに4月16日1時25分頃、再び熊本県熊本地方を震源とするマグニチュード7.3の地震が発生しました。藤崎台童園がある熊本市中央区では、4月14日の地震(前震)では震度5強を観測、4月16日の地震(本震)では震度6強の非常に強い揺れに見舞われました。

4月14日に発生した前震では、棚が倒れるなどの被害があったものの、大きな被害はなくライフライン等にも目立った被害が無かったため、通常通りの生活をしていました。しかし、16日未明に発生した本震では、停電や断水、崖崩れ、建物内部に破損が生じるなど大きな被害が生じ、児童全員を避難せざるを得ない状況になりました。

本震後に発生した断水や物資不足により、しばらく不便な生活が続きましたが、現在はライフラインも復旧し、ほぼ震災前の生活に戻りつつあります。今回の震災では、国内に少なからず被害があったものの、児童及び職員に人的被害がなかったのが幸いでした。また全国の方から、多くの支援物資や励ましの言葉をいただき、改めて多くの方々に支えられていることを感じました。

地震発生からの様子

●4月14日21時26分頃、前震発生。

棚にあったものが落ち、散乱するものの書棚等の倒壊はなかった。ライフラインは使用可能。児童の点呼を取り無事が確認でき、建物にも大きな被害が無かったため、居室に戻り生活。

●4月16日1時25分頃、本震発生

地震発生直後、園庭に児童を集める。停電のため、車のヘッドライトをつけて点呼をとり、全員の無事を確認。園内では危険と判断し、避難場所である一新小学校へ全員避難する。居住棟は書棚、キャビネ等が倒壊し、壁のひび割れ、ドアの破損、床のつなぎ目の浮き上がり等がみられた。また敷地法面が崩れ、菜師坂の道路上に石垣が落下した他、南側崖からは土砂崩落が確認される。敷地内にある与倉連隊長の石碑がずれるなど多くの被害が確認された。また断水となり、食事は備蓄していた非常食でとる。

●4月17日

児童全員が避難所から戻り、安全が確認できる本園の男子棟で全員生活する。断水のため、郊外まで水汲みに行き、調理の水を購う。生活用水は前日に貯めた雨水や江津湖に水を汲みに行き購う。支援物資が徐々に届き始める。

●4月18日

水の支援物資が届き始める。近くの温泉施設が営業再開したため、入浴に行く。

●4月19日

午前中から水が出るようになるが、水圧が低く、濁りもあるため飲用に使用できないが、洗濯ができるようになる。この頃から多くの支援物資が届くようになる

●4月20日

水道が完全復旧したため、本園で入浴が可能となる。食材の入荷も通常に戻り、震災前の生活状況に回復。



南側崖部分の土砂崩落の現場。

女子棟、居室とトイレをつなぐ部分が破損し崩れる。



正門入り口付近の菜師坂の崖崩れ現場。

崖部分に積み重ねてあった石垣が崩れ落ちる。

九州大会 野球の部 優勝!!

～ 第62回九州地区児童福祉施設球技大会報告～

監督 三芳野 晃大

今年も九州大会に行こう。子どもたちと強い気持ちを持ち、練習に励みました。熊本県大会では決勝で破れましたが、準優勝。6年ぶりに九州大会出場を掴み取りました。九州大会は強いチームばかり。気合いだけは絶対負けんと、一戦一戦全力で戦いました。その子どもたちの姿には、本当に心打たれました。その結果、優勝することができました。嬉しくて泣いている子もいました。

休日・夏休みもほとんど練習で時には私からも怒られ、悔しい思いもし、涙を流すこともありました。それでも必死について来てくれた子どもたちから感謝しています。私自身、優勝したことももちろんですが、1つの目標に向かってみんなで努力することの大切さ、それを成し遂げたことの喜びを、子どもたちが感じてくれたことが何より嬉しく思いました。

応援して頂いた皆様、本当にありがとうございました。

キャプテン 高3 M・S

僕は、キャプテンとしてみんなを引っ張ることがあまりできませんでしたが、僕にとって九州大会は、初めての経験でした。みんなの目標は2日目に残ることでしたが、決勝まで行くことができました。みんなのおかげで優勝することができました。18年ぶり2回目の優勝でした。とても思い出に残る大会でした。

来年も九州大会目指して頑張っしてほしいと思います。



理事長先生・園長先生と一緒に



バレーも九州大会に出場し、大健闘しました!!

キャプテン 高3 K・R

今年の九州大会は鹿児島島で開催されました。地震の影響により市内での体育館使用が難しく、菊池市まで行き厳しい練習を重ねてきました。県大会の会場よりも天井が高く広く感じるコートは、緊張をおおるのにはもってこいでした。コート内に入ると血が冷たく感じ、汗がじつとりと掌を濡らしました。試合中では何度も失敗することがありましたが、チームメイトのみんなが励ましながら1点1点を取りに行きました。

今年の目標のメダル獲得はできませんでした。冬から夏の蒸し暑い日間で積み重ねてきた練習は今後の生活において大切な経験になったと思います。辛く厳しい練習でも乗り越えられたのはチームのみんな、監督・コーチ、応援して下さった方々のおかげだと思います。今後もこの経験を生かし、また、色々な方への感謝の気持ちを忘れないように就職に向けて頑張りたいです。



新任職員紹介



心理士 坂本真美

今年の4月から藤崎台童園の心理士として勤めさせていた心理士として勤務して大変な状況で乗り越え生活している子どもたちを笑顔を見るたびに、子どもたちの力強さやたくさんの可能性を持つていると感じます。子どもたちを支援する気持ちに寄り添い、それらを少しでも安心できる生活に繋げることができるよう支えていきます。



保育士 高塚美樹

こんにちは。今年の四月から藤崎台童園で働かせていただいている高塚美樹と申します。私は大学で教育学を専攻していましたが、学校の教育よりも家庭的な面で、子どもたちを支援していききたいと思い、縁あって童園に就職しました。毎日いろんな出来事が起こり、新しい発見や驚きの連続です。不安や戸惑いも多いですが、昨日の自分よりも成長できるよう頑張っていきたいです。至らない点も多いですが、よろしく願います。



保育士 山本莉奈

今年の4月から藤崎台童園の職員として働くことになりました山本莉奈です。子どもたちとたくさん関わり、共に生活していく中で一緒に成長していきたいと思っています。まだまだ分からないことも多いですが、皆様を助けていただきながら精一杯頑張りたいと思います。いろいろなご指導いただきたくともありますが、どうぞよろしく願います。

たくさんの方々に、支援していただきました。

今回の熊本地震に際し、全国の皆様より多くの寄付・寄贈を頂きました。

今回は平成28年4月～平成28年9月分までのご支援頂いた方を掲載させていただきます。誠にありがとうございました。

寄附金(施設)

森本章子、横山近幸、井上幸夫、堂上薫、種子田武隆、南壽子、西浦あさこ、山下八重子、寺崎和幸、田中慶、平岡敏史、丸山尚子、富松明子、比留川稔、小出歩明、三上礼子猪狩国道、南広幸、(株)ムジャキフーズ、工藤健也、江澤正哲、桐林正彦、内津貴久、中島和仁、平賀幸弘、佐野拳利、田口正紀、木村竜太、興石隆之、小林学、小杉正治、石塚雄郎、酒井心、赤須輝一郎、金川俊一、NPO法人タイガーマスク基金、加島裕士、愛東運輸(株)、金井薫、関西華僑華人婦女連合会、日本華僑華人婦女連合会、斉藤照美、KGC、豊田静里香

寄附金(本部)

尾里裕子、勝亦功臣、見満かおる、八木真人、島村昌子、喜納美代子、鈴木孝子、高橋ツユ子、伊牟田記代子

寄贈品

中村基信、志賀キヨ子、文徳高校相撲部、古川りえ、熊本城管理事務所、森本章子、熊本パーベストチャーチ、佐藤隆司、砂田幸、門司一徹、NPO法人さんさんチャイルド、大竹晃、(株)GMC、能登朋子、近藤誠・中根強司、内田真二、藤田敏行・徳澄こずえ・上原結美、東中尾浩二、日本トイザらス(株)、兒島松子、熊本県護国神社、松田有史、谷本真紀、(株)ムジャキフーズ、酒巻さおり、伊藤由宏、寺崎和幸、カッサー工房、熊本ヴォルターズ、熊本火の国ライオンズクラブ、(株)久原醤油、中園愛弥、山崎圭子、白井朗、柿田あかね、古川麻衣子、MBIインターナショナル、阿部力、外崎玄、田邊陽子、思いやり活動まるごみ薩摩本部実行委員会、関島秀樹、恒松千春、(株)ピース、CSマイル、熊本ゼミナール、積文館書店、NPO法人エムズパワー大石基司、田中隆司、メットライフ生命、松永純一、(株)湖月、樋口淳也、深谷晴之、魚萬生駒、青山真奈美、田尻美紀、松浦裕子、矢毛石歯科、(株)公楽、佐世保ライオンズクラブ、村上良孝、小脇朝子、名宝飯村店、(株)カヌタバレイリゾート、村田製豆店、日本メンズファッション協会、ボスマミュージックエンターテイメント(株)、永久理恵、坪井靖之、九州納豆組合、道野善寛、大伴霞、スターたかしま、(有)東海レジャー、的石あきこ、(株)木村、(株)ジェイコム九州熊本局、飯沼宏彰、橋本醤油合資会社、NPO法人JHP・学校をつくる会、ヴィーナスギャラリー神戸、栗山恵吉、大住律子、生命保険協会、江田あゆみ、九州アイスクリーム協会、氷見市観光協会、宮崎和代、廣永峻一、金子博、高麗門、奥村一久、鷹野恵聖、くまもと復興支援センター、(株)ROプラス、東洋出版(株)、(有)カ・オール、吉永博史、若藤会、ジャストスクール、ギャップジャパン(株)、西本きよら、藤崎八幡宮、九州労働金庫熊本駅前支店

編集後記

日を追う毎に秋の息吹が感じられる季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。掲載した通り、当園でも震災の影響を受けましたが、皆様のご支援により、園児・職員共に充実した日々を送っています。感謝しております。今後ともどうぞよろしく願います。当園ホームページ(<http://www.fujisakidaidoen.biz/>)におきまして、その他行事等記載しておりますので御覧いただきますよう宜しくお願い申し上げます。

発行 藤崎台童園
 発行人 北村直登
 編集委員 成松 上田 松元 宮崎 井上
 〒 860-0007
 住所 熊本市中央区古京町3-5
 電話 (096) 352-5063
 FAX (096) 352-5445
 E-mail fujisakidai1345@trad.ocn.ne.jp